

会の
今年
の確
が行
、新
の影
ール
、講
同様
同関
が同
態が
その
会内
より
、リ
いる
では
ナウ

イルスの影響」の項目
が追加されたことなど
が報告された他、来年
度の事業計画について
も話し合われた。

コン ー 河道掘削に最新鋭機を投入

エク リ 日量300㎡の自走式スクリーン

エコクリーン（宮城
県亘理町、中里浩晴社
長、☎0223・34
・4547）は、グル
ープ企業のSSスチ
ール開発が請け負う土木
工事で発生した建設発
生土の選別工程に、同
社が輸入販売する最新
鋭の振動スクリーンを
投入した。

同工事は宮城県が発
注した河道掘削工事
で、河道断面を整備・
拡大するもの。発生土
に竹根などの有機物や
石類を多く含み、場内
外での再利用が難しい
ため、処分費の軽減と
リサイクル促進でスク
リーンの導入を技術提
案し採用された。



現場のようす（中央：Warrior2100Spaleck）

振動スクリ
ーン「Wa
rior
2100S
palec
k」。ホッパ
ーから投入
された掘削
土は粒度で
3段階に選
別され、異
物の無くな
った土砂は
現場内で再
利用され
る。1万6
000立方
メートルの土砂を
選別し、日量処理能力
は300立方メートル以上
に

上るといふ。同社が元
請となり、工事は20
21年3月末までを予
定している。

使用するのはPow
er Screen社
（イギリス）の自走式
選別し、日量処理能力
は300立方メートル以上
に

同社は、これまでに
も県内のさまざまな土
木工事への納入実績を
重ねており、グループ
企業による工事にも積
極的に参画している。
中里社長は「同機はウ
レタンマット式スクリ
ーンの反発効果で泥な
どによる目詰まりを起
こしにくく、作業効率
に優れる。リースだけ
でなく販売や施工請負
にも力を入れたい」と
話している。